

予算決算委員会総務政策分科会会議録

招 集

令和6年3月12日（火）午前10時 議会委員会室

出席委員（9名）

（分科会長）渡 辺 穰 爾 （副分科会長）吉 岡 古 都
伊 藤 ひろえ 稲 田 清 岩 崎 康 朗 門 脇 一 男
国 頭 靖 津 田 幸 一 森 谷 司

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

【総務部】下関部長兼調査課長 辻統括調整監 松本防災安全監

[秘書広報課] 幸本課長 小梅川課長補佐兼シティプロモーション推進室長

[総務管財課] 角課長 藤岡課長補佐兼総務担当課長補佐

横木情報公開担当課長補佐

[防災安全課] 田中課長 柴田主査兼地域安全担当課長補佐

[調査課] 鶴籠主査 泉原課長補佐兼行財政調査担当課長補佐 畠中担当課長補佐

[職員課] 伊藤課長 楠課長補佐兼人事担当課長補佐 松永給与担当課長補佐

[財政課] 金川課長 大塚課長補佐兼総括主計員 岩永係長

[契約検査課] 足立課長

[情報政策課] 最上課長 福留課長補佐

[営繕課] 前田次長兼課長

[選挙管理委員会事務局] 足立局長

【総合政策部】八幡部長 萩原人権政策監兼人権政策課長

[総合政策課] 堀口次長兼課長 遠藤課長補佐兼総合戦略室長

上場広域行政推進室長

[都市創造課] 相野課長 岸本都市計画担当係長 石倉都市政策担当係長

[交通政策課] 足立担当課長補佐 宮前主任

[まちづくり企画課] 川本課長 藤堂課長補佐兼まちづくり担当課長補佐

石谷課長補佐兼国際交流室長

[地域振興課] 毛利課長 景山課長補佐兼地域活動担当課長補佐

盧川自治振興担当課長補佐 広戸公民館担当課長補佐

[男女共同参画推進課] 長谷川課長 舟木課長補佐

[人権政策課] 樋口人権啓発担当課長補佐

【経済部】

[経済戦略課] 坂隠課長

【淀江支所・淀江振興本部】中久喜支所長兼部長

[淀江振興課] 山浦総合政策部次長兼課長 本田事業担当課長補佐

山中振興担当係長

[地域生活課] 堀口課長

出席した事務局職員

松田局長 田村次長 松下調整官 田中庶務担当係長

傍聴者

安達議員 今城議員 大下議員 岡田議員 奥岩議員 田村議員 塚田議員 戸田議員
錦織議員 西野議員 松田議員 森田議員 矢田貝議員

報道機関 1人 一般 1人

審査事件

議案第28号 令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第10回）のうち当分科会所管部分

議案第36号 令和6年度米子市一般会計予算のうち当分科会所管部分

議案第38号 令和6年度米子市土地取得事業特別会計予算

~~~~~

## 午前10時15分 開会

○渡辺分科会長 予算決算委員会総務政策分科会を開会いたします。

本日は、3月7日の本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案3件について審査をいたします。

初めに、議案第28号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第10回）のうち、総務部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

金川財政課長。

○金川財政課長 議案第28号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第10回）のうち、本分科会に付託されました総務部所管の事業について御説明いたします。

この予算議案の内容につきましては、令和5年度米子市補正予算書にて説明させていただきます。36ページをお開きください。

歳出でございますが、一番上の欄、一般管理費の右端の説明欄1行目に、一般管理費人件費として2億5,800万円を計上しております。これは定年退職者以外に自己都合などにより職員が退職することに伴う退職手当などでございまして、新たに必要となります人件費を追加しようとするものでございます。説明は以上でございます。

○渡辺分科会長 当局の説明は終わりました。

委員からの意見を求めます。ございませんか。

〔「なし」と声あり〕

○渡辺分科会長 ないようですので、本件は終了いたします。

次に、議案第36号、令和6年度米子市一般会計予算のうち、総務部所管事項部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

金川財政課長。

○金川財政課長 議案第36号、令和6年度米子市一般会計予算のうち、本分科会に付託されました総務部等の予算のうち、主な事業について御説明いたします。

令和6年度当初予算、予算説明資料の令和6年度当初予算、歳出予算の主な事業の概要の4ページをお開きください。上の段、防災倉庫整備事業としまして9,365万3,000円を計上しております。これは令和5年度に解体工事を実施した旧淀江保育園・幼稚園跡地に災害時の受援や物資の抛出も想定した防災倉庫を整備するものでございます。

続きまして、5ページをお開きください。上の段、シティプロモーション推進事業としまして440万円を計上しております。これは本市の魅力を内外に情報発信するものでございまして、引き続き広島東洋カープのマツダスタジアムでの試合開催時のプロモーションや、在住外国人による情報発信などを行うほか、米子ふるさとPR大使制度を創設するとともにその活用に取り組むこととしております。

続きまして、8ページをお開きください。上の段、基幹業務再構築事業としまして4億962万3,000円を計上しております。これは住民記録などの20の基幹業務システムを、国が仕様を定めた標準準拠システムに令和7年度末までに移行するため、移行データの作成や運用試験などの実施に必要な経費を計上するものでございます。

続きまして、12ページをお開きください。下の段、新米子市誕生20周年記念式典としまして400万円を計上しております。これは米子市と淀江町が新設合併してから20周年を迎える令和7年3月31日に、新米子市誕生20周年記念式典を開催するための経費を計上するものでございます。

続きまして、ページが飛びますが、59ページをお開きください。下の段、消防団装備資機材整備事業としまして2,441万3,000円を計上しております。これは消火活動において必要な装備品などを整備するものでございまして、防火衣の更新を実施するほか、災害現場における被害状況の確認などに活用するドローンを2台配備するための経費などを計上するものでございます。

続きまして、60ページをお開きください。上の段、消防団車庫整備事業としまして7,691万4,000円を計上しております。これは巖分団と春日分団の車庫の改築費用を計上するものでございます。説明は以上でございます。

**○渡辺分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の意見を求めます。

吉岡委員。

**○吉岡委員** 2事業ほど質問をさせていただきます。

まず、これは事業別予算説明書の14ページの第2庁舎管理事業について伺います。第2庁舎については、随分と本庁舎に課が移動されて、使用床面積が減っていると思うんですが、それに関して清掃などに関する委託料というのは減ってるんでしょうか。

**○渡辺分科会長** 角総務管財課長。

**○角総務管財課長** 第2庁舎の委託料のうち清掃等に関する御質問でございます。第2庁舎の清掃委託料のほうですけれども、令和5年度に比べまして令和6年度は対前年比で金額としましては僅かに微増という格好になっております。この理由でございますけれども、委託料の範囲というものが第2庁舎の共用部分、いわゆる廊下、トイレ、そういったところが清掃の対象となってまいります。委員の御指摘ありました、確かに令和5年度中に4階の経済部ですとか、あと1階の人権関係の部署が抜けたというのはありますけれども、ここの事務室部分につきましては、もともと職員で対応している清掃エリアになりますの

で、共有部分としまして廊下、トイレ、こういったものは引き続き、会議室もございまして、4階と1階も使用する予定としておりますので、微増として伸びた部分につきましては人件費の上昇分、この辺りを加味したものでございます。説明は以上でございます。

**○渡辺分科会長** 吉岡委員。

**○吉岡委員** 増えた理由はよく分かりました。ここ抑えて、市内の事業者さんの、従業員さんのお給料が減ったりということはよくないと思いますが、あわせて予算決算委員会の質問への答弁にもありましたけど、やはり現場に行って、業務の様子を逐次見ていただいて、あと合理化が、生産性の向上とかができているのかっていうのはチェックをしていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

**○渡辺分科会長** ほかに。

津田委員。

**○津田委員** 当初予算、今、通知を送ります。この上の段の防災倉庫整備事業ですけど、これの事業の倉庫用備品というので台座、机等とありますけど、これはどのようなものになりますでしょうか。

**○渡辺分科会長** 田中防災安全課長。

**○田中防災安全課長** 防災倉庫に備える備品についてのお尋ねでございます。台座といいますのがパレットになります。民間の倉庫でも使われてますが、四角形の主にプラスチック等でできた、フォークリフトで物を一遍に運ぶときに使うような、ああいったパレットになります。パレットの上で重量物等を置いて、リフトにつきましてはハンドリフターを用いまして、手で動かすということですが、そういったもので物品の管理を行おうと考えております。机についてなんですけれども、備品の管理等、また、小さなもの等を置くために折り畳み機のほうを数脚購入をして、活用を行いたいというふうに考えております。以上です。

**○渡辺分科会長** 津田委員。

**○津田委員** パレットでフォークで動かすということですけど、以前、あれは相馬市でしたかね、ああいうところに行ったときには電動の棚というかですね、棚自体が動いて、稼働して、そこから簡単に物が出せれるというようなものがありましたので、ここは防災安全課さんが出されるということで、この前、会議でありましたので、フォークリフトというか、持ち出しが可能な、容易にできるようなことを工夫されるようなものを購入とか考えられたらどうかなというふうに考えます。以上でございます。

**○渡辺分科会長** ほかに。

国頭委員。

**○国頭委員** 私もちよっと同じところの防災倉庫についてなんですけど、これ国県の支援というのはないんですか。ないから自前でやってるってということですか。もともとこういった事業にはないということですか。

**○渡辺分科会長** 田中防災安全課長。

**○田中防災安全課長** 国県の補助事業ではございませんが、起債に地方債というところがございます。いわゆる緊急防災・減災事業債、緊防債を活用してこちらの費用に充てるということで考えております。

**○渡辺分科会長** 国頭委員。

○**国頭委員** これ、新規っていうか、追加でつくられたと思うんですけど、今後っていうのはあるんですか。計画っていうのはあるんですか。

○**渡辺分科会長** 田中防災安全課長。

○**田中防災安全課長** その後につきましては、昨年だったかと思いますが、淀江のほうで倉庫整備を考えるとということの報告の中で、今後、集約化、拡大化を図っていきたいという考えについては説明をさせていただきました。現時点で具体的な計画はございませんが、東山で米子アリーナが整備をされます。それに併せて東山のエリアにおいては防災備蓄倉庫の整備を考えていきたい。まだ具体的な計画はございませんけれど、方向性としてはそういうふうに考えております。以上です。

(「分かりました。」と国頭委員)

○**渡辺分科会長** 岩崎委員。

○**岩崎委員** 説明資料の5ページ、シティプロモーション推進事業です。

これの米子ふるさとPR大使制度活用っていうことで予算化されてますが、私が聞きたいのは観光協会での、何ていうんですか、観光大使もあります、そこら辺とどういうふうにすみ分けをされてるのか、あるいは連携されてるのか、ちょっとお聞きしたいのですが。

○**渡辺分科会長** 幸本秘書広報課長。

○**幸本秘書広報課長** ふるさとPR大使についてでございますけども、実は観光協会さんで管理しておられますふるさと観光大使につきましては、新たに創設いたします米子ふるさとPR大使、これに一本化をして新たに米子市のほうで運用するように調整を進めていくところでございます。

○**渡辺分科会長** 岩崎委員。

○**岩崎委員** もうちょっと詳しくお願いしたいんですが。令和6年度から統合してということでおっしゃったですか。

○**渡辺分科会長** 幸本秘書広報課長。

○**幸本秘書広報課長** これは観光協会さんの御承認をいただいてからになりますけども、令和6年度から運用開始をする予定にしております。

○**渡辺分科会長** 岩崎委員。

○**岩崎委員** これ、要望ですけども、私どもの会派の田村議員がよくこれ触れられるんですけど、ぜひ、より効果的に、これまでの観光協会での任命された大使さん、統合されるということで今後も効果的にPR活動をするためにも、人選を含めてしっかりやっていただきたいと思っております。

もう1点あるんですけど。12ページです。淀江の合併20周年記念、これについてももう少し詳しく説明いただきたいのですが。来年の3月31日に記念式典をする、その費用がこれ多分、充てられてると思うんですけど、令和7年度が20周年の記念の年になるということの確認でよかったか。それと、来年度行われるような20周年、せっかくのお祝いを1年間かけてどのような推進、イメージがあるのか、推進というか、お祝い、イメージがあるのかはお示しいただきたいと思っております。

○**渡辺分科会長** 角総務管財課長。

○**角総務管財課長** 新米子市誕生20周年記念式典についての御質問でございます。

まず、1点目でございますが、来年、ちょうど1年後の令和7年3月31日、ここがちょうど20周年を迎える節目となります。岩崎委員おっしゃられました20周年の記念事業としましては、令和7年度に向けて事業を進めていく格好となります。この後も総合政策部のほうからまた御説明があるかと思えますけど、そういう考え方で間違いございません。あと、あわせてこの20周年に向けてということになりますけれども、今、準備しておりますけど、3月31日開催予定の式典に向けて、この中で20周年を迎えるに当たりましてどういったお祝いの仕方ができるのか、ここに予算は計上はさせていただいておりますけれども、この予算を活用させていただいて、こういった記載のあります記念講演ですとか、あとは機運を盛り上げていくためのマスコミ等、御協力いただいた情報発信ですとか、そういった格好で式典に向かっていきたいと考えているところでございます。説明は以上でございます。

（「分かりました。」と岩崎委員）

○**渡辺分科会長** 門脇委員。

○**門脇委員** 59ページの下段の消防団装備資機材整備事業ですけども、事業計画の中でドローンを2台配備するところありますけど、これは米子市消防団とどこか分団に、2分団に配備するのか、それともどっかまた違うようなところへ配備するのかを教えてください。

○**渡辺分科会長** 田中防災安全課長。

○**田中防災安全課長** 現時点での計画でございますが、米子市消防団として収容いたしまして、団の中から操作者、研修等を受けていただかないといけませんので、募集をしてというふうに考えております。今後、実際の運用につきましては、消防団とを詰めながら進めていきたいというふうに考えております。

○**渡辺分科会長** 門脇委員。

○**門脇委員** 分かりました。これ今後、将来的にわたってドローンを増やしていくような計画っていうのはございますでしょうか。

○**渡辺分科会長** 田中防災安全課長。

○**田中防災安全課長** 台数につきましては、現時点で増加をさせていくという具体的な計画はございません。まずは、ドローンというものを操作できる者を増やさないとはいけませんし、あと、常備消防との連携というところも出てこようかと思えます。そういった取組を進める中で、必要性に応じて対応していくべきかなというふうに考えております。以上です。

（「分かりました。」と門脇委員）

○**渡辺分科会長** 門脇委員。

○**門脇委員** 地域防災力の向上だとか、防災・減災、非常に今後も大事な施策となってくると思えますので、より一層力を入れてやっていただきたいと思えます。以上です。

○**渡辺分科会長** ほかに御意見はございますか。

吉岡委員。

○**吉岡委員** 当初予算説明資料の8ページ、基幹業務再構築事業について伺います。全国的に業者さんがいなくて頓挫しているところがある中、米子市には業者さんがいらっしゃるということでありがたいことだなと思えますが、ほかのシステム開発業務も1社にほぼ

随意契約状態になっているということで、この委託料の妥当性というのはいかにどのように判断しておられるのかというのを伺いたいです。

**○渡辺分科会長** 最上情報政策課長。

**○最上情報政策課長** システム開発における受託業務のその妥当性についての御質問だと思います。確かにおっしゃるとおり、その妥当性をどう判断するかというところは難しいところではあるかなとは思っております。基幹システム、大きいシステムですので、実質いろんな業者に入れ替わり立ち替わりで開発していただくことも事実上不可能であろうかなとは思っておりますが、交渉して、妥当な金額にさせてもらっているというふうに考えております。以上です。

**○渡辺分科会長** 吉岡委員。

**○吉岡委員** ちょっと御説明聞いても、やっぱり妥当性というところの判断っていうのがすごく難しいのではないかなと思います。多分もともとのシステムも同じ会社さんがつくっておられるので、類似団体と比べてっていうことも難しいかなと思いますので、ただ、このままずっと随意契約っていうことになると、要するにほぼ言い値っていうことですし、あと、システムの質の硬直化っていうこともちょっと懸念をされるかなと思いますので、その辺り、庁内でどのようにしたらいいかっていうのも御検討いただければと思いますので、要望しておきます。以上です。

**○渡辺分科会長** 本件は終了いたします。

次に、議案第38号、令和6年度米子市土地取得事業特別会計予算を議題といたします。当局の説明を求めます。

金川財政課長。

**○金川財政課長** 議案第38号、令和6年度米子市土地取得事業特別会計予算の概要について御説明いたします。この予算議案の内容につきましては、令和6年度事業別予算説明書にて説明させていただきます。

215ページをお開きください。上の表、起債償還元金といたしまして4,702万円を計上しております。これは平成18年度に土地開発公社経営健全化計画に基づいて土地開発公社の用地を取得しておりますが、その際に発行いたしました市債の償還金を計上しているものでございます。

続きまして、同じページの下の方、起債償還利子としまして46万6,000円を計上しております。これは先ほど御説明いたしました市債に係る利子を計上したものでございます。なお、土地開発公社は平成25年度末に解散しております。御承知とは思いますが、申し添えます。説明は以上でございます。

**○渡辺分科会長** 説明は終わりました。

委員の皆様の御意見はありますか。

〔「なし」と声あり〕

ないようですので、以上で総務部所管の審査を終了いたします。

予算決算委員会総務政策分科会を暫時休憩いたします。

**午前10時36分 休憩**

**午前11時10分 再開**

**○渡辺分科会長** 予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。

初めに、議案第28号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第10回）のうち、総合政策部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

堀口総合政策部次長兼総合政策課長。

**○堀口総合政策部次長兼総合政策課長** 議案第28号、令和5年度米子市一般会計補正予算のうち、総合政策部所管部分について説明いたします。資料は御覧のとおりです。

令和5年度3月補正予算、歳出予算の主な事業の概要を御覧ください。3ページ上の段、淀江保育園跡地活用事業として1,000万円を計上しております。これは令和5年度に企業版ふるさと納税の寄附を受けたことから、令和6年度の事業実施に備えまして、米子市企業版ふるさと納税地方創生基金に積み立てるものでございます。3ページ下の段、生活路線運行対策事業として2,908万7,000円を計上しております。本事業は、運行事業者に対して運行経費の一部を補助するものでございますが、路線バスの利用実績により所要の額を補正し対応するものでございます。以上が総合政策部の補正予算の概要でございます。御審議のほどお願いいたします。

**○渡辺分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員から御意見を求めます。

津田委員。

**○津田委員** この3ページの下段ですけれども、路線バスの利用実績ということで、この3つの業者っていうの内訳と、それとあと補助金の使われるわけですけど、なかなか厳しいんですけど、赤字を解消していくような策とかがあっていうのがあるんでしょうか。

**○渡辺分科会長** 足立交通政策課担当課長補佐。

**○足立交通政策課担当課長補佐** まず、3事業者の内訳というところでございますが、3事業者、日ノ丸自動車と日本交通及びイエローバスを運行する安来市になっております。今回の補正額の内訳でございますが、まず日ノ丸自動車、こちらのほうが内訳が1,435万7,000円になっております。日交のほうが1,461万9,000円になっております。そして、安来市のイエローバスのほうが11万2,000円ということで、合計でこの2,908万7,000円という形になっております。

**○渡辺分科会長** 八幡総合政策部長。

**○八幡総合政策部長** 赤字の対策でございますけれども、これはひとえに、今でもやっておりますが、利用促進ということが今までやってきた施策です。ただ、この利用促進を何十年来と進める中でも一向に赤字が減らない。それはいろいろ今、「歩いて楽しいまちづくり」で、お話をさせていただきますけれども、車社会であるから致し方ない部分っていうのがあると思うんです。ですから、私どもは、以前からお話しさせていただいてますように、まずその社会自体を変える動きっていうのをある程度していかないと抜本的な解決にはならない。だから、このたび公共交通計画を策定すると併せて立地適正化計画というのを作りまして、その居住誘導区域については路線バスを少し、できたら増やすような形でやっていきたい。主に皆生線ですけども、そこのドル箱路線というのは力を入れて。ただ、一方で、そうじゃない郊外のエリア等については、今のコミュニティバスを走らせるとかということで、抜本的にこの社会の仕組み自体を変えていくという施策に、ようやく昨年度、今年度あたりから取り組めた。だから、これは少し長い時間はかかるんですけども、そっ



ちにかじを切ったということをまず御理解いただきたいと思ひますし、そうはいつても、その取組つていつのは何年来やっぱり期間がかかるわけですから、当面やっぱり利用促進いつていつことで様々な施策を進めていきつたいと、そういつうふうにかいつているところでございつます。以上です。

**○渡辺分科会長** 津田委員。

**○津田委員** 某鉄道会社さんはダイヤ改正の半年ぐらいつ前から乗降率を各駅でずつと調査するんですけども、それで調査して、増便だとか減便だとか、そういつうなことを決定されるようですけども、そういつうな調査とかをきつちりされて、なくてはならない路線とかつていつのは絶対あるのて、そういつうところは郡部のほうつていつるか、山間部だとかそういつうな人が乗らないところつていつのは、減らしてはならない路線で、乗車率とかも本当に悪いと思ひうんですけども、そういつうなところをもつと。ドル箱路線とかは増便いつるか、この時間帯は多い時間だからとか、そういつうな調査をされて、こういつことの補助をされているのかなつていつのが私自身ちよつと疑問に思つておりましたので、その辺はどうかのかなと思ひまして。

**○渡辺分科会長** 八幡総合政策部長。

**○八幡総合政策部長** まず、各路線の調査については、これは毎年きちんとやつております。やつた上で今のダイヤを組んでいるわけてして、ただ、御案内のようにつ、今このバスを取り巻く環境の中で一番厳しいのが運転手の問題です。運転手の確保の問題で、特に2040問題つていつのがあつて、時間が早くなる、4月からダイヤ改正がありますけども、そういつ厳しい環境の中で、今、言われたような路線ごとの乗車率等を踏まえた上で現在見直しをかけております。見直しの方向としましては、ドル箱路線となる路線については充実をしていく方向でやりたいなと。ただ、これ相手先があるものてですからね。うちだけでこうだつていつことにはならないんですけども、そこ今、協議を現に進めているところでございつますし、あと、幾らドル箱路線じゃないところが、じゃあ、削つてもいいかといえつば、そうはならないわけて、そこは既にいろいろなところで地元説明会等も入つております。その上で基本的な考え方としては、立地適正化計画に係る居住誘導の部分については、路線バスを充実していく。それで、なかなか採算が合わない郊外等については、今年度、来年度予算でお願いをしておりますけども、コミュニティバスなどを中心につそういつ対応をしていくことを現在進めているところてあります。

**○渡辺分科会長** ほかに御意見はありますか。

国頭委員。

**○国頭委員** 部長が言われるようにつ、相手先があるつていつのが時間かかると思ひます。私ももう10年前ぐらいつから相手先と話してもらつたいといつうのを言つてますので、時間かかると思ひますが、やっぱり抜本的に見直していかないといいけないといつう、それこそ神戸市が私鉄を一部路線、買つ取るようにつ、どこの自治体ももう費用負担は仕方ないなといつう、公共交通においてはあると思ひますんで、最終的には米子市が主導して運営するとか、そういつたことも含めて取組んでいただきたいなと思ひます。弓浜等で試験的に走らせようといつう、そういつた施策等は本当にやつとされ出したつていつるか、いいことだと思ひますので、取組んでいただきたいなと思ひつています。

**○渡辺分科会長** 要望ですか。

〔「要望です」と国頭委員〕

○渡辺分科会長 ほかに。

ないようですので、本件については終了いたします。

次に、議案第36号、令和6年度米子市一般会計予算のうち、総合政策部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

堀口総合政策部次長兼総合政策課長。

○堀口総合政策部次長兼総合政策課長 議案第36号、令和6年度米子市一般会計予算のうち、総合政策部所管部分について説明いたします。

5ページ下の段、淀江保育園跡地活用事業として1,410万円を計上しております。これは解体、除去工事を実施した旧淀江保育園・幼稚園跡地への防災倉庫の整備に併せて広場の芝生化を行うものでございます。

次に、6ページ上の段、環日本海拠点都市会議として155万8,000円を計上しております。これは環日本海圏域の都市の首長が一堂に会し、都市間の交流及び発展方策について意見交換を行うもので、令和6年度は鳥取市で開催することに伴い共催負担金を計上するものでございます。

同じく6ページ下の段、生活路線運行対策事業として1億6,444万8,000円を計上しております。これは生活バス路線を維持するために運行事業者に対して運行経費の一部を補助するものでございます。

おめくりいただいて、7ページ上の段、循環バス運行事業として3,487万5,000円を計上しております。これは市内中心部における移動利便性を高めるため、だんだんバスを運行するものでございます。なお、これまで実証運行を行ってまいりました歴史・まちなかコースについては、令和6年4月1日から本格運行を開始いたします。

同じく7ページ下の段、移住定住推進事業として500万と9,000円を計上しております。これは移住定住相談窓口を設置し、移住定住に係る情報発信や相談対応を行うとともに、移住者を呼び込むためのPR動画を新たにつくり、発信することで、移住定住のさらなる推進を図るものです。

8ページ下の段、まちづくり活動推進事業として100万円を計上しております。これは地域活動が今後も継続的なものとなるように、地域課題の解決に向けて、各地区で行われるまちづくりに関する新たな取組に補助金を交付するものです。

続きまして、9ページ上の段、よなご共創型交通プロジェクトとして2,100万円を計上しております。これは国の共創モデル実証プロジェクトの財源を活用して、鳥取県、交通事業者、商業団体等との連携事業を実施するものです。具体的には、だんだんバスへのキャッシュレス決済の導入や、それによって得られるデータの分析、商業施設等との連携事業などを実施する計画としております。

同じく9ページ下の段、都市機能誘導区域支援事業として350万円を計上しております。これは米子市立地適正化計画で定める都市機能誘導区域内において、大学及び専門学校が開設された場合や、学部、学科が新設された際に、在籍する学生数に応じ補助金を支給するものでございます。

続きまして、10ページ上の段、郊外型巡回バス実証運行事業として1,425万円を計

上しております。これは令和4年度に策定した米子市地域公共交通計画に基づいて実施する事業で、弓ヶ浜地区において巡回型のコミュニティバスを導入し、今後のバス路線の再編を見据えながら、生活交通に係るニーズや最適なルート等を調査する取組でございます。

14ページ下の段、ヘルスケアプラットフォーム実装事業として900万円を計上しております。これは米子市、医療機関及び民間企業で構成するコンソーシアムにおいて、地域共通デジタル診察券、フレイル予防プログラム、地域情報ポータルの3機能を軸としたマイナンバーカード連携アプリ、よなゴーゴーの運用を行うための負担金でございます。

飛びまして、40ページ上の段を御覧ください。伯耆古代の丘公園整備事業として1,442万4,000円を計上しております。これはお祭り広場への就学前児童向け小型遊具の設置や樹木の伐採、園内施設修繕などを行うことで、利便性向上と開放感ある公園づくりを進め、安全確保と来園者の増加につなげていくものでございます。

続きまして、45ページ上の段、淀江にぎわい創造事業として1,293万1,000円を計上しております。これは淀江の地域資源を淀江の魅力として生かし、地域の活性化とにぎわいづくりに資する事業を実施し、認知度の向上と来訪のきっかけづくりにつなげるものでございます。

続きまして、54ページ上の段、米子駅周辺まちなかウォークブル推進事業として2,866万円を計上しております。これは歩いて楽しいまちづくりの推進に当たり、道路や公園などのハード整備の進展と併せて、市民や民間事業者と連携したまちづくりの取組を進展させていくため、公共空間利活用に関する実証実験、セミナー開催等に係る経費を計上するものです。

続きまして、69ページ下の段、公民館施設等整備事業として7,924万円を計上しております。これは公民館の利便性を図るため、施設の維持、補修等の整備を行うものです。特にUPZ圏内の公民館施設について、国の原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金を活用した改修を予定しております。以上が総合政策部所管の当初予算の説明となります。御審議のほどお願いいたします。

**○渡辺分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員からの意見を求めます。

伊藤委員。

**○伊藤委員** 1点だけお願いします。6ページです。生活路線運行対策事業ですが、先ほど来ずっとありましたけれども、また補正もありましたが、大体2億超えましたよね、前年度実績でいえば。超えてない。2億近くじゃなかったかなと思うんですけども、それなのに、前年度比マイナスになってる考え方を教えていただければと思います。

**○渡辺分科会長** 足立交通政策課担当課長補佐。

**○足立交通政策課担当課長補佐** 先ほど2億超えてるんじゃないかというお話がありましたけれども、実際のところは1億9,000……、2億以下でございます。間違いはございません。

**○渡辺分科会長** 前年対比マイナスの要因。

八幡総合政策部長。

**○八幡総合政策部長** 当初に出しますこの予算でございますけども、実績については、先ほど3月補正でもあったんですが、基本的には補正で対応させていただくという流れにな

っております、あくまでも当初予算比において、ただ前年度と比べて110万ほどですんで、そこはあんまり前年当初の見込みとしてはそんなに変わらないと。ただ、若干、先ほど言ったように、前年度は、例えば燃料費とかを事業者のほうがよけ見とったのではないかと、詳細については分かりませんが、あくまでも当初予算の前年度比で100万ほどは下がったというだけの話でございます、実際に伊藤委員が言われるトータルとしては2億ぐらいはかかっているんじゃないかということについては、最終的にはそのくらいの見込みになるかとは思いますが、あと、先ほどからの議論ですけれども、いかにこの額を抑えていくのが必要なのかなということで、抜本的な解決策としては、先ほどの繰り返しになりますけれども、基本的にはそういう町にしていけないと、やっぱりこれは無理だと思います。

**○渡辺分科会長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** おっしゃることはすごくよく分かるし、私はこの事業は理解してるつもりです。部長がおっしゃる進むべき方向は私も賛同しますが、でも、実際問題としては、とても厳しい、難しい問題だと、悩ましい問題だと思っております。

予算編成方針では、通年で見込めるものはやっぱり見込んでいくというような方針の下なので、補正で対応するから当初はこれくらいにっていうよりは、やっぱりもうそこで計算してできるものだったら見込んでおくっていうのが、私はあるべき姿なのかなと思っています。年々実績では上がっているけれども、当初ではずっとこの金額、踏襲していきまわすっていうのはやっぱりちょっと違うのではないかなと思って、その考え方が聞きたかったです。お願いします。

**○渡辺分科会長** 八幡総合政策部長。

**○八幡総合政策部長** 当初でいろいろ見込むべきだという御指摘でございますけれども、例えば昨年ですと、途中コロナ禍の影響とかがあって、急にがくと下がったり、それこそおとしあたりですと、急に、燃料費の高騰とかがあった、そういうような経過があって、今、こういう予算要求の形になっておると思いますが、その辺りのことは、今回御指摘がありましたので、今後の課題としてきちんと私どもとしては受け止めさせていただきます。

**○渡辺分科会長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** 私は、できればこういうふうな改善をしたいので、こういうふうに前年度比マイナスを目指しておりますというふうな答弁がよかったのかもしれないな、なんて思うんですけども、それはそれとして、本当に精査をして、予想できるいろいろなものはやっぱり盛り込んでいって、きちんと市民に対しても説明ができるというふうにしていきたいと思っております。ここでマイナスになるのは、費用がかかってしまうのは市民にとってもマイナスなので、じゃあ、自分たちもこういうふうにしていこうというような、そういう醸成も必要だと思うので、声かけも併せてしっかりと答弁できるようにお願いしたいと思います。以上です。

**○渡辺分科会長** ほかに御意見のある人。

津田委員。

**○津田委員** 7ページの上段ですけど、循環バスの実証運行で歴史コース、まちなかコースということですけど、利用者についてどのくらいあったのかということと、それから、

利用者の声というのはどういう声があったのかということをお聞かせください。

**○渡辺分科会長** 宮前交通政策課主任。

**○宮前交通政策課主任** まず、歴史コース、まちなかコースの実証運行の利用者についてのお尋ねですけども、利用者として、平均を御紹介したいと思います。こちらのコース、令和3年の12月から実証運行開始をしております、ここまでの2年と少しの期間です。途中、一度、令和4年の12月にルート変更をしております。ルート変更前の平均で申しますと、ルート変更前が月におよそ870人の御利用だったのが、ルート変更後、令和4年12月以降、現在に至るまでの月平均がおよそ、今、1,300人ほどの御利用ということで、着実に現在増えているという状況でございます。

続いて、利用者の方々の声ですけれども、以前からあります既存のだんだんコースというものは、やはり1周が約1時間と長いというところと、大学病院ですとか高島屋からそれぞれの相互の移動ですとか、米子駅に戻るというところで、なかなか時間がかかっていたところをより短時間で戻れるということで、比較的好評のお声をいただいております。実際に利用の多いバス停としまして、米子駅はもちろんのことでありますが、大学病院ですとか高島屋、あとは、イオン米子駅前店前ですとか、やはり商業施設に絡むバス停というのが、あと、病院絡むバス停というのが非常に多くて、高齢者の方ですとか買物の方の御利用ということで、好評の声をいただいております。以上です。

**○渡辺分科会長** 津田委員。

**○津田委員** 大変よく分かりました。すごく乗車率もよく、ルートにしても利便性向上というか、そういうとこができたということで認識しました。

もう一つよろしいですか。次のページですけど、9ページの上段です。だんだんバスのIC端末導入ということの関係ですけど、この関係で、鳥取のくる梨と同様で、携帯端末とICOCAと現金も使えるっていうようなものなののでしょうか、どういうものかっているのをちょっと教えていただけますでしょうか。

**○渡辺分科会長** 足立交通政策課担当課長補佐。

**○足立交通政策課担当課長補佐** 今回導入する交通系IC端末ですが、だんだんバスでICOCAの導入を計画しているところでございます。ICOCAは交通系ICですので、Payカードは全て使えるような形になっております。あと、もちろん今までどおり現金のほうが利用できる形にはしておりますので、現金と交通系ICということになっております。以上です。

**○渡辺分科会長** 津田委員。

**○津田委員** ということは、携帯端末でPay Payとか、そういう携帯端末のものは使えないという認識でよろしかったでしょうか。

**○渡辺分科会長** 足立交通政策課担当課長補佐。

**○足立交通政策課担当課長補佐** Pay Payとかは使えないです。今、ICOCAは携帯で使えるものもございますので、それでも決済のほうはできるようにはなっております。以上です。

**○渡辺分科会長** 津田委員。

**○津田委員** 今せっかくJ-coinとかもありますんで、そういうのも使えるような形で研究とかされてはどうかと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。以上で

す。

**○渡辺分科会長** ほかに。

岩崎委員。

**○岩崎委員** そうでしたら、何点かありますので、よろしくお願いします。

最初に、7ページ、移住定住推進事業です。ここで申し上げたいのは、窓口を設置されるということで、今後、その窓口でいろいろ相談対応なんかもされるということですが、これは受け姿勢ですので、もうちょっと、例えば首都圏とか関西圏とか、営業活動とか、何か外にそういう移住定住を求めていくというようなことをどうお考え、どんなことをお考えでしょうか。

**○渡辺分科会長** 川本まちづくり企画課長。

**○川本まちづくり企画課長** 外にどのように打っていくか。移住定住の相談員で待つのではなくて、外にどのように打っていくのかという御質問だったと思います。まず、我々、今回、令和6年度の事業の中で、米子市のPR動画と、あと、移住定住のガイドブックのほうを新たに作ろうというふうに考えております。この移住定住のPR動画ですけれども、米子市の移住の状況を勘案しますと、若い、20代、30代の方が、Iターンの方が多いということですので、そういう方向けのPR動画を作成して、外に周知を図っていききたいというふうに、令和6年度、新たに考えているところでございます。説明は以上でございます。

**○渡辺分科会長** 岩崎委員。

**○岩崎委員** 具体的には、外に周知を図る、そういう施策はどういうことを考えておられますか。

**○渡辺分科会長** 川本まちづくり企画課長。

**○川本まちづくり企画課長** 具体的に、どのようにPR動画を周知していくか等、ツールを周知していくかなんですけれども、我々、外に出るときに移住定住の相談会のようなものもございまして、そういったことを通じての御案内と、それから県とも連携したような形、こういったところで広く関係機関と連携を図りながら、この米子市の魅力をまず伝えていくということに、令和6年度は特に取り組んでまいりたいというふうに考えております。

**○渡辺分科会長** 岩崎委員。

**○岩崎委員** 続いて、9ページです。都市機能誘導区域支援事業です。今回この坪内総合ビジネスカレッジということで、これは都市機能誘導区域内の今回の事業ということでございます。これも、先ほどの若い世代の移住定住にもつながってくると思うんですが、今回も35名という想定でやっておられますが、もう実際、そこの米子駅の周辺とか、その辺に移住定住につながっていくお考えで、どのように推進されてるのかお尋ねしたいと思います。

**○渡辺分科会長** 八幡総合政策部長。

**○八幡総合政策部長** 基本的には立地適正化計画の際に少しお話をさせていただきましたが、この町なかっているのは、いわゆる都市機能を集中させていくというエリアでございまして、そこで、このカレッジというのは、都市機能誘導施設という位置づけになっておりますので、だから、その誘導策として、今回、新しい事業を実施させていただくと

いうこととございます。今後の展開につきましても、この都市機能誘導施設内においては、これだけが都市機能誘導施設ではございませんので、あらゆる都市機能が、例えば今回の米子アリーナもそうですけれども、そこに集中するような、まちづくりを進めていくことが必要かなというふうに考えているところでございます。あわせて、移住の話とのリンクでいきますと、私どもといたしましては、外から呼ぶというよりも、出させないっていうところの面で、今回の分は考えた節もありまして、特に専門学校等につきましても、非常に地元の就職の定着率が高いもんですから、今後も既存のところ、例えば定員を増やすとかというようなときにも、そういう対応を積極的にしていきたいかなというふうに考えているところでございます。

**○渡辺分科会長** 岩崎委員。

**○岩崎委員** 市内であっても、確かに県外に出させないというか、そういう気持ちがよく分かりました。なるほどなと思いました。そのための補助金であるということとあります。

続きまして、これは14ページになります。ヘルスケアプラットフォーム実装事業ということでお伺いしたいのですが、事業効果は、分散化された個人の健康データ、医療情報の集約化で、住民の健康的な生活と安心を支えるということとでございます。この推進をするイメージというか、事業の概要はいろいろ書いてありますけれども、いま一つ、私の頭の中ではうまく整理ができてないもんで、分かりやすくイメージを説明いただければと思います。

**○渡辺分科会長** 堀口総合政策部次長兼総合政策課長。

**○堀口総合政策部次長兼総合政策課長** 令和5年度にデジタル田園都市国家構想交付金で約3億円の交付金を頂きまして、米子市、鳥取大学、あと、米子医療センター、博愛病院、労災病院、フレイル、そういったところでシステムを今、構築しております。このデジタル田園都市国家構想交付金のメニューとしては、令和5年度がシステムをつくる、令和6年度と7年度で運用をする、この3年間で基本的なメニューになりますので、ここを運用するために一般社団法人を設立することにしております。なぜ設立するかと申し上げますと、まず一つは、個人情報同意、例えば米子市は医療に関する個人情報、例えば患者さんの医療を扱う、患者さんの情報を扱う権限はございませんので、この一般社団法人で包括的に個人情報の同意が扱えるようにする。もう一つが収益です。今回のこの事業は横展開、例えば近隣の病院ですとか自治体ですとか、そういったところでも使えるようなものにしたいという国のメニューですので、横展開する際に、収益、構築は交付金でできるんですけども、じゃあ、これをほかの自治体や病院に利用してもらう際には収益を取って、最終的には民間で自走できるような仕組みに、この令和6年度、7年度でしたいと考えておりますので、そしたら収益も扱うと。この大きく個人情報の同意と収益を扱うという点で、なかなか病院だけ、米子市だけではできませんので、一般社団法人をつくりまして、そこで運用するという大きな仕組みになります。以上です。

（「中身はよく分かりました。」と岩崎委員）

**○渡辺分科会長** 岩崎委員。

**○岩崎委員** 私からの最後の質問ですけど、ページでいえば40ページになります。

伯耆古代の丘公園事業、淀江の関係で、あわせて、多分この後、45ページの淀江にぎ

わい創造事業にも関連してはまいります。特に聞きたいのは、これまでも淀江の、例えば伯耆古代の丘とかについて、今後の方向性について、この委員会とか議場でも議論をしたわけですけど、いま一つ、次年度、また推進されるに当たって、同じように、例えばファミリー層を対象に利用を進めていきたいというお考えであると、この辺でうたってありますけども、本当にそういうふうに今年度も同じような形で、例えば公園運用とかやっていくお考えなのかどうなのか。前々から、抜本的に考えたらどうなんだろうという意見を述べているわけですけども、一向にこれ、なかなか大きくかじは変わっていかないなというようなどころですが、そこら辺のことを御説明いただきますように。

**○渡辺分科会長** 山浦総合政策部次長兼淀江振興課長。

**○山浦総合政策部次長兼淀江振興課長** 質問いただきましたのが、伯耆古代の丘公園の利活用について新たな方向性ということをどのように考えているかということによって認識させていただきました。

古代の丘公園につきましては、もともとが古墳に囲まれた公園ということもございしますので、その古墳、遺跡ということをどう生かしていくかというところは常々課題と考えております。私どもが作成いたしました、やりすぎ淀江伝説であったりとか、あと、次年度取り組みます東大人文・淀江プロジェクトとの関わりを持っていってということで、そういった古来ございます淀江の地域資源である古墳、遺跡についてもうちよつと光を当てていこうと、そういったこの生かす場としての公園の利活用であったりとか、近隣にございます保育園跡地のところの広場の利活用ということ絡めて、いろんな仕掛けができればなというふうに考えてはおるところでございます。あと、今回、高床のほうの調査というところも入れておまして、これにつきましては、地元からのやはりお声というところで、公園としてのランドマークである高床のやぐらのほう、これについても実際、利活用ができないのかというお声も実際いただいておりますので、今後そういった活用法も含めて、新たな方向性を見いだしたいなというふうに考えておるところが次年度の計画でございます。以上です。

**○渡辺分科会長** 岩崎委員。

**○岩崎委員** 次年度計画を今、語っていただいて、東京大学大学院の人文社会系研究科、文学部によるみたいな、淀江の新しいプロジェクト、それと、やりすぎ淀江伝説、この名前がちょっとあんまり意味がよく分からないんですけど、そういうふうに、要は昔からの、いわゆる文化でありますとか、そういったところを光を当てて、さらにそれをまちづくりに生かしていこうという、多分お考えだと思いますが、なかなか市民に対しての周知も、これじゃあ分かりづらいし、本当に淀江はいい地域だと思いますが、いま一つ、分かりにくいというか、もうちよつとうまく、いいPRとかできないかなと思って、考え、何かありましたらお願いします。

**○渡辺分科会長** 中久喜淀江支所長兼淀江振興本部長。

**○中久喜淀江支所長兼淀江振興本部長** 淀江について、もう少し効果的なPRができないかという御質問だと思いますけれども、従前からいろんなPRとかホームページであるとかフェイスブックであるとか、いろいろしとるんですけども、あと、やりすぎ淀江伝説は、公共施設での配付もしておるところですけど、やはりどうしてもPRが弱いという御指摘だと思います。これを受け止めまして、何かもっと効果的なものがないかと考えてお



りまして、メディアを使ったりとか人を使ったりとか、いろいろ多角的なPRの周知を考えていきたいと思っております。以上でございます。

**○渡辺分科会長** 岩崎委員。

**○岩崎委員** 要は伯耆古代の丘公園でも何でも、何ていうんですか、新しい事業は進められるんだけど、あんまり効果が上がってこないように思いますので、しっかりとそこも、これまでの検証も生かしながら、分かりやすいようによろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。

**○渡辺分科会長** 門脇委員。

**○門脇委員** 同じところで、伯耆古代の丘公園整備事業なんですけども、今、岩崎委員が言われたように、私ももっと淀江の振興、どんどん前に進めていっていただきたいと思ひておりますけども、まず、予算が前年比から大幅に落ちてますけども、落ちてるんだなと思ひて、違うところをぱっと見たら、大体当初の要求額っていうのは前年よりちょっと多かったですかね、それぐらいなのに、結局は予算4割程度になってました、計算したら。これ、こうなった何か要因っていうのがあるんですかね。

**○渡辺分科会長** 山浦総合政策部次長兼淀江振興課長。

**○山浦総合政策部次長兼淀江振興課長** 昨年度との比較ということになりますと4割減でございますけれども、暦年での比較といいますと、大体同じようなところの平均値というところでは取ってるんですが、昨年は老朽化した木製遊具、こちらが大きいとは思ひますけれども、大きいもので安全性を確保しなきゃいけないものを緊急的に対応したというところで大きい費用がかかったと、そういうところが大きい要因かなとは思ひております。今年度につきましては、より利用者の方の近いところ、もっと小さい世代の子どもさんたちが使う遊具のほうにお金をかけたいなということもございまして、そうすると、規模的に小さくなったということもありましたんで、それが総じて4割減ということが数字になったというふうに捉えております。

**○渡辺分科会長** 門脇委員。

**○門脇委員** それは要求額から結局は査定がそういうふうになったということ。

もう1項目だけ、10ページをお願いします。昨日の予算決算委員会でも錦織委員からあったんですけど、郊外型巡回バス実証運行事業についてですけども、昨日のに加えまして、コミュニティバスを1台利用してるということ、これの車種というか、ジャンボタクシーを使用するということなんですけど、これ、何人乗り、何人の定員なんですかね。

**○渡辺分科会長** 足立交通政策課担当課長補佐。

**○足立交通政策課担当課長補佐** 9人乗りのジャンボタクシーを利用する予定にしております。

(「分かりました。」と門脇委員)

**○渡辺分科会長** 門脇委員。

**○門脇委員** 今、美保中学校校区は義務教育学校の、令和10年開校に向けて、いろいろ協議してるとこなんですけど、その中でも、スクールバスの問題があったりするんですけど、このコミュニティバスと今の実証実験と、全然また別個な話というか、協議されてやられるということか、それとも、全く別で今、この実証実験はやるっていうことなんですかね、どうなんでしょうか。

○**渡辺分科会長** 八幡総合政策部長。

○**八幡総合政策部長** 当然、義務教育学校の開設、そのときのスクールバスのこと踏まえながら、来年度は実証実験を行うという予定にしております。

○**渡辺分科会長** 門脇委員。

○**門脇委員** これから地元への説明も入っていかれると思いますけども、その予定とかはもう決まっていますか。

○**渡辺分科会長** 足立交通政策課担当課長補佐。

○**足立交通政策課担当課長補佐** 3か所、美保地区なんですけれど、1か所、大篠津地区はこの間やってきたところでございます、あと、和田地区と崎津地区のほうは現在、もう予定を入れております。今、日程は調整中でございます。

○**渡辺分科会長** ほかに御意見は。

吉岡委員。

○**吉岡委員** 3事業ほど質問をさせていただきます。

まず、当初予算説明資料の7ページです。移住定住推進事業について伺います。移住定住相談窓口を設置し、というふうにあるんですけど、現在、大体移住定住をしようと思われる方はどういうルートで相談をしてこられるのか、件数も分かれば教えてください。

○**渡辺分科会長** 川本まちづくり企画課長。

○**川本まちづくり企画課長** 移住の相談のルートということでございます。予算説明資料の中で書いてある移住定住の相談窓口の設置というのは、移住定住相談員の設置ということでございますが、こちらについては年間250件超ぐらいですか、のような形で相談をいただいているところです。どういったルートで。その他も含めて、どういったルートでだと思えますけれども、例えば先ほども申し上げました、県外での移住定住の相談会であるとか、そういったものも別にやっております、そういったところでも数十件、令和5年ですと、5回ぐらい県外出てるんですけども、そういったときも大体十二、三件ぐらいの、1件当たりの相談があるというような状況でございます。

○**渡辺分科会長** 吉岡委員。

○**吉岡委員** 電話での相談っていうのはありますか。

○**渡辺分科会長** 川本まちづくり企画課長。

○**川本まちづくり企画課長** 先ほど250件超ぐらいのところの中に、電話での相談も含めた件数でございますし、もちろん対面で、4階のほうにお越しいただいて相談をお受けするというようなこともございます。

○**渡辺分科会長** 吉岡委員。

○**吉岡委員** やはり若い方が移住されるということで、日中お仕事されてたりすると、なかなか市の窓口とか電話で相談というのも難しいと思うんですけど、ウェブでの対応っていうのは考えておられないんですか、チャットとか。

○**渡辺分科会長** 川本まちづくり企画課長。

○**川本まちづくり企画課長** そうですね、確かにそういった窓口と申しますか、そういったツールでの相談をお受けすることができればいいなというふうに考えておりますが、現時点では、そこまでの対応っていうのは考えていないところでございます。

○**渡辺分科会長** 吉岡委員。

○吉岡委員 じゃあ、次に、同じ資料の9ページです。先ほどもありました都市機能誘導区域支援事業についてですが、この坪内総合ビジネスカレッジ米子キャンパスで、学べるものってというのはどういったものになるのでしょうか。

○渡辺分科会長 堀口総合政策部次長兼総合政策課長。

○堀口総合政策部次長兼総合政策課長 主にITのコースになります。

○渡辺分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 事前に伺ったところによると、Rubyのプログラミングを学べるというふうに聞いたんですが、合ってますか。

○渡辺分科会長 堀口総合政策部次長兼総合政策課長。

○堀口総合政策部次長兼総合政策課長 そのように聞いております。

○渡辺分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 非常にいいなと思います。Rubyの開発者のまつもとゆきひろさんは米子市出身でありながら、松江にすっかり取られてしまって、職員さんも、松江出身の方ですかみたいな感じで認識がすごく薄いところがあります。先ほどは地元にいる方を定着するというふうな御答弁でしたけど、Rubyとまつもとさんを組み合わせれば、外から十分に若い方、呼べるのではないかと思いますので、ちょっと松江のようなRuby Cityっていうわけにはいかないかもしれないんですけど、そういったことも、先ほどの移住定住のアピールのところにはぜひ使っていただきたいなと思っています。あと、就職実績というのがすごく重要になってくると思うんです。学生さんに来ていただくのに。そういったものって、今後モニタリングしていくような御予定はありますでしょうか。

○渡辺分科会長 堀口総合政策部次長兼総合政策課長。

○堀口総合政策部次長兼総合政策課長 今後、そういう定住施策の中で、そういうところも入ってくるかもしれませんが、少なくとも令和6年度につきましては、実績を見させていただくという範囲でございます。以上です。

○渡辺分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 先ほどのヘルスケアプラットフォーム、14ページですが、令和5年度でどこまで今、進捗しているのかっていうのを教えていただけませんかでしょうか。

○渡辺分科会長 堀口総合政策部次長兼総合政策課長。

○堀口総合政策部次長兼総合政策課長 先ほど岩崎委員の御質問のとおりなんですけども、令和5年度につきましては実装をすると、令和6年度、7年度で運用をするというのが基本になりますので、大方、今月末でシステムは出来上がるという状況でございます。

○渡辺分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 このアプリ、よなゴーゴのリリースはいつ頃の予定になりますか。

○渡辺分科会長 堀口総合政策部次長兼総合政策課長。

○堀口総合政策部次長兼総合政策課長 今の予定ですけれども、まず、4月から少し個人情報、患者の情報も使いますので、かなりテストは重ねたいと思っております。何せ4病院ありますので、順次始まるんですけども、よなゴーゴ自体のアプリにつきましてはテストや運用を重ねて、今の予定ですけれども、夏頃を予定しております。

○渡辺分科会長 予算決算委員会総務政策分科会を暫時休憩いたします。

午後0時01分 休憩

午後1時00分 再開

○渡辺分科会長 予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。

八幡総合政策部長。

○八幡総合政策部長 午前中の伊藤委員の御質問の中で、生活路線の運行対策事業で、前年度よりも若干減になっている、その辺りの答弁がちょっと十分ではなかったものですから、再度ちょっと担当のほうから答弁をさせていただきたいと思います。

○渡辺分科会長 宮前交通政策課主任。

○宮前交通政策課主任 午前中の補足のほうをさせていただきたいと思います。次年度の予算額ですけれども、今年度の実績に比べて約100万ほど低くなっているのはどういうことかというお尋ねでしたけれども、次年度の予算額の考え方ですけれども、あくまで次年度はもうコロナ期間を抜けてるということで、それまでの実績、つまりは完全にコロナ前とはいかないまでも、それに近い格好で収入のほうは、お客様が戻って収入が増になると。ひいては、赤字のほうが増少するということを見込んで、この予算額というふうにさせていただいております。以上です。

○渡辺分科会長 伊藤委員。

○伊藤委員 昨年5月から5類になったので、ちょっと乗り越えたのかなと思っていたんですけど、でも、そう言われると、令和5年度は2億近く出てるわけですね。そのところが、何となく今の御説明じゃあ、何か納得できないような感じがしますが、再度見解をお伺いしたいと思っています。

○渡辺分科会長 八幡総合政策部長。

○八幡総合政策部長 トータルとして約2億というのは、これは先ほどの答弁で申し上げましたように、やっぱり利用者の減ですとか、そういうのが影響してるかなと思います。ただ、あくまでも、このたびの当初予算が、いわゆる前年度よりも100万円下がっている理由は何かという御質問に対しては、先ほど担当のほうがいきましたように、コロナ禍を明けたということはある程度見込んだつもりなんですけども、それをどの程度見込んだらよろしいのかということで、あくまでも、過去、コロナ前の5年間の平均で見込んだものですから、大体このような数字になったということでございます。ただ、全体的に約2億円の見込み、2億円というものの赤字については、これは基本的には利用者の減ですとか、そういうようなところが影響しているというふうに考えております。以上です。

○渡辺分科会長 伊藤委員。

○伊藤委員 最後にしますけれども、予算編成の中では、通年予算として補正で対応するという考えではなく、見込めるものは見込むというようなことなので、やっぱり精査していただくべきかなというふうに思いましたので、質問させていただきました。以上です。

○渡辺分科会長 それでは、ほかに質問はございますか。

〔「なし」と声あり〕

ないようですので、本件は終了いたします。

それでは、予算決算委員会総務政策分科会を暫時休憩いたします。

午後1時04分 休憩

午後1時42分 再開

○渡辺分科会長 予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。

分科会長報告のための意見の取りまとめを行います。御意見がありましたら挙手。

〔「なし」と声あり〕

○**渡辺分科会長** 皆さん、ない。当初予算だけど、ない。

〔「はい」と声あり〕

○**渡辺分科会長** それでは、特になかった旨、報告させていただきます。よろしいですか。

〔「はい」と声あり〕

○**渡辺分科会長** それでは、以上で予算決算委員会総務政策分科会を閉会いたします。

**午後 1 時 4 3 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

予算決算委員会総務政策分科会長 渡 辺 穰 爾